

令和5年12月1日発行

倉吉市議会だより

# 白壁

## 9月定例会

この議会だよりでは、議員本人が執筆(要約)したものを基に掲載しています。



### 今号の内容

- 市政に対する一般質問・・・・・・・・・・2～10
- 特別委員会・・・・・・・・・・10
- 議案に対する質疑・・・・・・・・・・11
- 常任委員会・・・・・・・・・・12～13
- 正副議長あいさつ・・・・・・・・・・13
- 議案等の議決結果・・・・・・・・・・14
- 飛び出せ！議場・・・・・・・・・・15
- 市民の声・12月定例会・編集後記・・・・16



撮影者：山下正人さん（泰久寺）

### ～花でいっぱいの地域づくり～

毎年、年に3回ボランティアで集落内の3カ所を子どもたちや若い方、お年寄りが一緒に楽しく花壇の花植えをしています。バス停の花壇に植えた花は、バスの乗客の方に喜んでもらっています。



# No. 27





# 【市政に対する一般質問】

## 【一般質問とは？】

年4回の定例会で行うことができます。議員が、市の事務の執行状況や今後の方針などについての報告や説明を市長や執行機関の長に求め、適切な市政運営が行われているかを質すものです。倉吉市議会では、基本的に1人あたりの質問時間は25分です。

## 一般質問通告一覧表

| 会派名          | 議員名                      | 発言通告要旨                     |
|--------------|--------------------------|----------------------------|
| 公明党・改革新政会市議団 | 福井 康夫                    | ○ 国民健康保険について               |
|              |                          | ○ 18歳までの医療費無料化について         |
|              |                          | ○ 防災・減災対策について              |
|              | 笠原 晶子                    | ○ 生命(いのち)の安全教育について         |
|              |                          | 性暴力対応マニュアルについて             |
|              |                          | 学校エアコン断熱材の設置について           |
|              |                          | ○ パートナースhip制度導入について        |
|              | 伊藤 正三                    | 子どもアドボカシーについて              |
|              |                          | ○ 公立保育園再編について              |
|              |                          | 防災対策について(治水対策等)            |
|              |                          | 経済対策について                   |
|              | 鳥飼 幹男                    | 移住・移住者支援策について              |
|              |                          | ○ 公立保育園の再編について             |
|              |                          | ○ 書かない窓口システムの導入について        |
|              |                          | ○ 燃油価格・物価高騰による市民生活への影響について |
|              | 鳥羽 昌明                    | 生ごみの減量化への取組について            |
|              |                          | ○ 障がいのある方への市の各種取組について      |
|              |                          | ○ スケートパーク整備について            |
|              | 丸田 克孝                    | 成徳小の新学期について                |
|              |                          | ○ 農福連携について                 |
|              |                          | ○ 小学校統合後の校舎利用について          |
| 大月 悦子        | ○ フレイル予防について             |                            |
|              | ○ フェアトレードについて            |                            |
|              | 倉吉市と小田急電鉄の包括連携協定締結について   |                            |
| 大津 昌克        | 市長と教育委員会との効果的な連携の在り方について |                            |
|              | ○ 公立保育所再編について            |                            |
|              | 小学校及び中学校の適正配置について        |                            |
| 藤井 隆弘        | 脱炭素について                  |                            |
|              | ○ 台風7号被害と水害対策について        |                            |
|              | ○ 除雪対策について               |                            |
|              | 大平山公園周辺整備と活用について         |                            |
|              | ○ 保育所統合について              |                            |
|              | 教職員の働き方改革について            |                            |

| 会派名   | 議員名   | 発言通告要旨                  |
|-------|-------|-------------------------|
| こころ   | 田村 閑美 | 倉吉打吹まつりについて             |
|       |       | スポーツコンベンションについて         |
|       |       | ○ 横田地内保育園再編について         |
|       |       | ○ 鳥取県立美術館開館について         |
| さきがけ  | 山根 健資 | ○ ふるさと納税の使途や管理について      |
|       |       | 特急スーパーはくとの倉吉発着について      |
|       |       | ○ 倉吉伝建地区(赤瓦周辺)の観光開発について |
|       |       | 大御堂廃寺の駐車場の活用方法について      |
| さきがけ  | 福井 典子 | 公立保育園再編について             |
|       |       | ○ 小中学校における熱中症対策について     |
|       |       | ○ 農業政策について              |
|       |       | 人材育成事業の進捗状況について         |
| さきがけ  | 米田 勝彦 | ○ 防災について                |
|       |       | ○ 友好都市について              |
|       |       | ○ 関金の観光振興について           |
|       |       | ○ 道路標示について              |
| さきがけ  | 朝日 等治 | ○ 暑熱対策について              |
|       |       | ○ 市営余戸谷町住宅について          |
|       |       | スケートボードスペースについて         |
|       |       | グランfond倉吉について           |
| 日本共産党 | 佐藤 博英 | ○ 本市の農業について             |
|       |       | ○ 带状疱疹ワクチンについて          |
|       |       | ○ 自治体労働者処遇改善について        |
|       |       | 地球温暖化問題について             |
|       |       | 災害対策について                |

○印のついた質問は、次頁以降に記載しています。

## 【通告とは？】

本会議で発言しようとする議員は、あらかじめ議長に対して質問する項目を明らかにするために、文書で通告を行います。この文書を「質問通告書」と言います。

なお、この通告一覧表は定例会開会日のおおむね2週間前に倉吉市ホームページに掲載されています。

定例会の一般質問  
発言通告表





公明党・  
改革新政会市議員

福井 康夫

### 8月15日台風7号被害対策について

**問** 農地農業施設関連の被害では、早期の応急復旧と災害復旧による受益者負担の軽減を図るべく激甚（局地）災害などの適用の可能性は。

**答** 農地農業施設では、8,230万円の専決処分分を応急復旧に対応している。

**問** 度重なる福庭東の浸水対策の検証と北田川の樋門管理、何より河床のしゅんせつや繁茂した雑草の撤去が急務の課題ではないか。

**答** 浸水被害者に直接会って、状況を聞いた。指摘の対応について早速、樋門管理や河床浚渫は県に要望していく。小災害見

舞金の現行1万円については、見直すか検討する。

### 国民健康保険の来年度以降の保険料の決定について

**問** 賦課限度額は、104万円までと負担は多い。財調基金7億円の活用をすべきでは。

**答** 3年間保険料を下げている、県内では2番目に低い方。国民健康保険運営協議会の開催を年4回予定しており、来年1〜2月には検討する。

### 18歳までの医療費無料化について

**問** 7月に知事の呼びかけで、県内19市町村全て同意をされた。市町村から何か意見がなかったか。

**答** 来年度から完全無料化する。所得制限は無し。外来530円、入院1,200円が対象となる。コンビニ受診に対する医療体制の確保等の意見があった。



公明党・  
改革新政会市議員

原 晶子

### 生命（いのち）の安全教育について

**問** 「生命（いのち）の安全教育」の取り組みの進捗をお知らせください。

**答** 各小中学校では学年の実態や発達段階に応じて文部科学省作成の教材を活用したり、保健体育の教科書を使用した学習、学校独自の教材や内容による学習をするなど、すべての学校において、授業は行ってきている。就学前の子どもさんについては教育委員会でもまだ全体を把握していないので、関係部署とよく相談しながらどう進めていくか検討していきたい。可能な限り保護者への啓発は行って

る。今後はホームページも含め広報に努め、広く取り組みを周知していきたい。

### 「パートナーシップ制度」導入について

**問** 導入についてのお考えを伺います。

**答** 同性パートナーを事実婚状態とすることが妥当と判断し、これまでの研究成果をもとに、県の制度開始実施に合わせ、本市においても現状で対応可能な15の制度を軸として10月1日からパートナーシップを導入することとし、今準備を開始している。制度を導入するだけでなく、性的マイノリティの方への配慮や理解が市民の皆さんに進んでいくよう啓発活動も重要と考え、差別や偏見が解消されるよう、引き続き取り組みを進めていきたい。





公明党・  
改革新政会市議員

伊藤 正三  
いとう まさみ

### 公立保育園再編について

**問** 保育園再編問題は、地元住民との合意が得られず停滞している。市の説明不足は十分反省すべきである。が、肝心なのは早急に子どもたちに良質な保育環境を整えることである。そのためにも、土地改良区と合意がなされた横田地区で建築を進めるべきであるがどうか。

**答** 以前は、説明不足もあって、今までの経過の中では、なかなか横田では言えなかったところではあるが、一旦横田の方向でと遅ればせながら説明させていただいたので、今後保護者や地域の代表の方たちへの説

明にしっかりと努めていきたい。

### 第3次倉吉市行財政改革計画について

**問** 第3次倉吉市行財政改革計画に伴う人員削減あるいは、雇用の受け皿としての役割について、地方公共団体は、場合によっては、不況の時など雇用の受け皿とならなければならぬ。人員削減には慎重にならなければならぬが、いかがか。

**答** 今後も業務量の減少は見込めない中、令和5年度は4人増員した。地方においては、市町村役場は重要な就職先。特に不況の時など、雇用の受け皿としての役割についてその機能を果たしていきたい。



公明党・  
改革新政会市議員

鳥飼 幹男  
とりかい けんお

### 公立保育園の再編について

**問** 市内西エリアの公立保育園再編は施設の老朽化への対応や全国の保育施設での事件、事故など保育の質の低下が懸念されている。背景には、保育士不足がある。また、子育ての孤立化も進んでおり、支援を必要とする親や保育ニーズは依然高い。保育園の再編で適切な保育士の配置ができ、質の高い保育が期待できるが、施設整備の進め方についてはどうなっているか。

**答** 保護者会では、求められる機能等、理解は得られたと思うが、今後は4地区の保護者会と地区代表を交え意見交換を行い、理解を得る努力をする。

### 書かない窓口システムの導入について

**問** 書かない窓口とは、市民が申請書に記入することなく必要な書類の交付が1カ所で受けられる窓口で、市民の利便性向上に向けて導入すべきでは。

**答** 住民と行政の双方が、デジタル化のメリットを実感できる。市民サービスの向上、業務の効率化、費用対効果を踏まえ、研究してみたい。

### 燃油価格・物価高騰による市民生活への影響について

**問** 燃油価格、物価高騰が生活者の家計を直撃している。国も負担軽減策を継続することを決めているが、市独自でも臨時交付金を活用した生活者支援策を講じるべきでは。

**答** 臨時交付金は事業者支援に充当しており、余剰金は見込めない現状にある。国の追加する経済対策の状況を見ながら対応を考えたい。





公明党・  
改革新政会市議員

とば まさあき  
**鳥羽 昌明**

### 障がいのある方への市の 各種取組について

**問** 物価高騰の影響が日常生活用具の値上げにも及んでいる。基準額の増額を検討すべきではないか。

**答** 用具の市場単価の増額に対する基準額の見直しについては、用具を必要とする方からの声をお聞きし、その都度柔軟に対応していきたい。

**問** 申請・執行状況は？また、タクシー運賃値上げの動きもあるが、本助成制度の適正化・拡充を検討すべきでは。

**答** 令和4年度の交付対象者975人のうちチケット交付の申請は542人ということで交付率

は55・5%、予算執行率は78・9%で、不用額は104万2千円であった。今後、こうした現状の原因等の分析を行いながら、令和6年度に向けて助成内容の改正や見直しも検討していきたい。

### スケートパーク整備について

**問** スケートボードをはじめとするアーバンスポーツの振興に對する本市の考え方と専用施設を市内に整備して欲しいという声にどう応えるか。

**答** 東京オリンピックの開催を契機として体育スポーツを取り巻く環境は大きく変化しており、本市としてもアーバンスポーツの振興は大切なことであると認識している。要望に関しては改めて活動団体の話をよく聞き取って、利用実態や要望、どの程度のスポーツパークを希望なのかの把握にまずは努めたい。



くらよし

まるた たかつたか  
**丸田 克孝**

### 農福連携について

**問** 農福連携における本市の現状と農商工福の連携は出来るのか。

**答** 農福連携は、農業に従事することによって、障がい者の方が生きがいを見つれたり、農業の発展を目指したりする取り組みである。県主体の取り組みで、県内の東中西に3人のコーディネーターを置き、それぞれが農家と障がい者の方とのマッチング支援を行っている。令和4年度は、9件の取り組みが実施されている。福祉関係施設で農業に関連した施設は6施設あり、農作業の手伝いをされてい

る。中部地区の垣根を越えた連携はできる。あくまでも県が主体の事業なので、市としてはできることの協力はしていく。

### 小学校統合後の校舎利用について

**問** 山守集学校の使用権譲渡後の事業、小学校の現状、統合予定後の北谷小学校と上小鴨小学校の校舎の活用予定は。

**答** リングロー株式会社はIT企業なので、ITを活用して中山間地域を取り巻く生活環境の改善に寄与されていると思っております。旧灘手小学校の校舎については、検討委員会の中で旧校舎の一部を地域コミセンとして活用を検討されているところ。北谷と上小鴨小学校の校舎活用については、地元の方の意見を聞いた上で要望に応えたい。





くろよし

おおつき えつこ  
大月悦子

## フレイル予防について

**問** 新型コロナウイルス感染症発生から今日までの3年間、フレイル予防のための対策は。

**答** 一時中断があったが、令和4年では70%実施していた。なごもう会などはコロナ禍以前と同じくらい開催した。

**問** 各地域での取り組みの現状と今後の計画は。

**答** 令和2年度より西郷地区をスタートし、令和3年度からは上井地区、今年度は上小鴨、関金地区が実施しており、各地区に広げていく計画。

**問** 地域単位でのフレイル予防を行うことはタイムラグがあり、対象の地域になるまでに期間を要する。それらを解消するため

に、全市一斉に取り組めるフレイル予防アプリの導入をどう考えるか。

**答** アプリの活用は有効と感じた。他市の例を研究し、導入後のフォロー体制をしっかりと構築する必要がある。

## フェアトレードについて

**問** 市は啓発のための何か取り組みがあるか。

**答** 令和3年度に生涯学習特別講座で55名の市民が受講して、生活の中から取り組んでいこう等の感想もあり、市内でもチョコレートやコーヒーを取り扱っている店もある。今後は認知度を向上させ普及促進を図りたい。

**問** 「フェアトレードタウン」認定を目指す考えは。

**答** フェアトレードという言葉、仕組みなどについて認知度を上げ、中心になって活動する団体がでるなど、まずそこから進めていきたい。



くろよし

おおつ まさかつ  
大津昌克

## 公立保育所再編について

**問** 地域の中に候補地の選定過程が不明との声がある。福光地内から横田地内に変更になった経緯、いつ、どこで、誰と、どのような協議が行われたのか。

**答** 令和2年10月に福光地内を内定するも土地改良区が不同意となる。その後、担当課で対応を検討してきた。令和4年4月に私が市長になり、令和4年5月に土地改良区の理事長に私自身が訪問し、候補地選定の要件に合う場所の事前協議を行い横

田とした。6月22日に土地改良区に同意願書を出し、7月1日土地改良区理事会で賛成多数で了解を得た。

**問** 今後、久米小学校と社小学校の統合議論が始まると思うが、将来的な小学校の位置も考慮して横田地内を選定したか。

**答** 小学校の位置関係はあまり意識していない。保育所は就労支援施設であり、家や学校の近くでなければいけないということではない。

**問** 今後、地元の同意が得られなかった場合、別の場所という可能性、余地はあるか。

**答** ここまで説明してきたし、議会議決をいただいている。余地があるとすれば、各地区不同意となった場合だが、基本は丁寧な説明を繰り返して、若干遅れても今の場所を進めていく。



ふじい たかひろ

藤井隆弘

### 台風7号被害と水害対策について

**問** 住宅被害が多かった福庭東の水害対策、北田川の流れを改善するのは当然だが、今後どのような対策を考えているのか。

**答** いったん堰をして、可搬型のポンプを使って強制的に排水し、水路に流すことを考えており、実際9月には計画変更を完了し、早期に浸水対策に努めたい。

**問** 水害対策として、土地のかさ上げや擁壁等が有効だと考える。全国で補助制度を設ける自治体も増えている。倉吉市でも研究、対応が必要ではないか。

**答** 一定の効果は期待できると考える。滋賀県、能美市、舞鶴市等で補助制度を設けている。県内では実施している事例がな

いので研究はしていきたい。

### 除雪対策について

**問** 利用車両が多く複数の町内が関わる道路、病院や福祉施設周辺の道路、地域総意で除雪要望のある道路等、実情を把握して除雪対象路線の見直しが必要ではないか。

**答** 上井地区から直接要望をいただいている。見直しにあたっては基幹的役割を持つ路線幹線道路を基本とし、総合的に判断していきたい。

### 保育所統合について

**問** 保育所統合で保育士等の配置が改善されるのか。子育て支援センター等に配置というのは違うと考えるが。

**答** 例えば、5歳児28人に対して保育士3人配置だが、1〜2人で対応し、余剰人員を子育て支援センター等に充てられる。



たむら しずみ

田村閑美

### 横田地内保育園再編について

**問** 公立保育園再編計画地区説明会にて市長をはじめ、関係執行部の方々に説明いただいたが、基本設計を執行するのかが、基本設計を執行するのかが、再編建設予定地での安心、安全を示してほしい。こういった部分を今後、どのように進めていけるか。

**答** 基本設計への着手について、皆さんに理解いただくよう丁寧に説明したい。安心安全については調査し、4地区の説明会を開催して示したい。

### 鳥取県立美術館開館について

**問** 開館予定地周辺で経済効果を高める場所が必要だが、どのように考えているか。また、パークスクエアへの誘導を含め、食彩館のリニューアルを求める。

**答** 既存店舗の連動性や必要性を検討したいと申し上げたところだが、倉吉商工会議所からも県立美術館隣接地に商業施設を設置することについて要望をいただき、強い声があるものと受け止めている。今時点では、美術館西側に市立図書館や未来中心のおみやげ館、鳥取二十世紀梨記念館、食彩館等の各施設が相互に補完しながら動いていると思うので、人の動線や提案のあった施設設置について検討していきたい。







さきがけ

山根 健資

### ふるさと納税の用途や管理について

**問** ふるさと納税額の伸び悩みの原因や今後の戦略、その用途について、市民参画できるか。

**答** 倉吉市の返礼品は、梨、スイカ、米が中心となっております。安定して供給できる返礼品がない。ふるさと納税関連業務を市役所の職員が担っている。業務過多もあり、商品開発やPRの体制が不十分である。先進地では、加工品を返礼品にする事でふるさと納税額を伸ばしている。先進地の取り組みの良いところを取り入れたり、返礼品のPR方法に工夫を加えたりして、ふるさと納税額を伸ばしたい。最低でも10億円を目指したい。

い。用途の決定は、事業の必要性、性格性など効果の検討を行っている、予算の中で財源の一部としている。一番多く使われているのが、保育所運営の7千万円。ふるさと納税の用途は、市民の皆さんが参画できるもの。各事業を所管している窓口でいろいろな提案をいただけたらと思う。

### 倉吉伝建地区（赤瓦周辺）の観光開発について

**問** 観光、生活（融雪）、介護福祉の観点でかつてのにぎわいを同地区に取り戻すため、赤瓦周辺や伝建地区に温泉掘削を提案したいがいかがか。

**答** 例えば、町並みにあった銭湯風の温泉があれば、魅力的なもの。民間の運営主体があれば、応援したい。魅力度アップや来訪の目的化につながると考える。



さきがけ

福井 典子

### 小中学校における熱中症対策について

**問** 学校の先生方も生徒の安全のために大変尽力をしておられると思う。個々の様子を見極めながら、子どもたちが元気に過ごせるよう現場での的確な判断・対策をお願いしたい。

**答** 令和5年8月7日に倉吉市立中学校部活動における対策についてホームページに掲載している。熱中症指数を掲示したり、日中も含め特に朝の健康観察に気を使ったりしている。救急の場合の職員体制を共通理解し、子どもの安全を最優先に努力していく。

### 農業政策について

**問** 本市の農業戸数は、2010年から2020年約600戸減、農業就業人口は同じく、10年間で約1,500人弱減少し、半分近い人口となっている。後継者不足が非常に問題となっているが、新規就農者への支援事業の成果はどうか。

**答** 令和2年7人、令和3年8人、令和4年9人の新規就農者があった。就農後5年間はその状況を確認。年に1回は確認会を開催しては場や畑の状況も見て、技術指導や経営改善のアドバイスを行っている。

**問** スマート農業技術の開発が鳥大農学部においても行なわれている。特に梨農家においては、期待するところが大きい。連携できるところはあるか。

**答** 県や園芸試験場を通してやっていくことになる。





さきがけ

よねだ  
かつひこ  
**米田 勝彦**

### 防災について

**問** 8月の台風7号の時、防災無線で、「避難所に避難する時は飲料水や食料を持参してください」と放送された。これを聞いた人は、持参は面倒だから家のようにと思われたかもしれない。

これは自主避難の場合で、避難指示の時は持参しなくてもよい。この区分は市民の方には分からない。水、食料持参の要請はすべきでないと思うが。

**答** 避難される時にためらいが起きてはいけなないので、放送内容等について検討したい。

### 友好都市について

**問** 終戦当時、倉吉市出身の安藤石典（いしすけ）という人が北海道根室町（現根室市）の町長をしておられ、マッカーサーに対して日本で初めて北方領土返還の陳情書を出された。平成22年に根室市長（当時）がゆかりの地を訪ねて倉吉市に來られた。根室市と友好関係を結んではどうか。

**答** 根室市長（現在）からは、倉吉市に行ってみようかという話もいただいている。友好親善関係の構築を検討していきたい。

### 関金の観光振興について

**問** 観光客に來てもらうには関金の魅力アップを図る必要がある。10年間でどのくらいの予算が必要か計画してあるか。

**答** 10年間の計算はしてないが、地域の魅力向上に必要な取組みを過疎計画の中に追加して盛り込んでいく。



さきがけ

あさひ  
とうじ  
**朝日 等治**

### 市営余戸谷町住宅建て替えについて

**問** 余戸谷町住宅の建て替えに伴う地元住民への説明が徹底されず、行政の説明責任が果たされていないのでは。

**答** 指摘のとおり、説明の遅さ、内容の不十分さについては本当に申し訳なかった。心より陳謝申し上げたい。

**問** 余戸谷町および長坂新町両住宅入居者の今後の居住環境を整えた後に、別の建設地を考えられないか。

**答** 安全対策等を改めて検討し、余戸谷町の皆さんに提案させていただくことを今考えている。

### 本市の農業について

**問** 本市の農業を守り、育てていくため「食料・農業・農村基本法」の見直しをどう考えらるか。

**答** 食料安全保障の達成、農業経営の育成・確保、農村への移住、関係人口の増加などの問題に対応した基本法の見直しが必要であろうと考えている。

### 道路標示について

**問** 車両走行や除雪作業に伴い劣化、剥離した道路標示を整備し、交通安全の確保と街並み景観を保持されないか。

**答** 県立美術館の開館を見据え、総点検を行い、各道路管理者に呼びかけて引き直しを行っていききたい。

### 暑熱対策について

**問** 近年の酷暑から市民の命を守るため、熱中症予防手当を支給する等、独自の制度を整備されないか。

**答** エアコン購入の意向を確認し、世帯の状況に応じて家計管理への助言、指導、生活福祉資金貸付けの利用を紹介するなど対応を取っていききたい。





日本共産党

佐藤 博英

### 带状疱疹ワクチンについて

**問** 带状疱疹は、どのような症状や原因があるのか。また、発症状況や予防について、その費用は。

**答** 带状疱疹は水ぼうそうと同じウイルスで起こり、水ぼうそうに感染した人は誰でも体の中にウイルスを持っていて、抵抗力が落ちた際に水ぼうそうと同じような症状が出るとされており、痛み・かゆみなど、厳しい症状がある。80歳までに3人に1人がかかるとされており、予防としては、ワクチン接種が非常に有効だとされている。

不活性化ワクチンで約4万円。自己負担となるが、全国市長会を通じて、国に対し要望している。

**問** 全国195自治体が助成している。医療費抑制にもなる。市独自で取り組んでいただけなのか。

**答** 先進地を調べて検討するが、全国一律にすべきと考える。

### 自治体労働者処遇改善について

**問** 自治体労働者、特に会計年度任用職員の状況は。

**答** 会計年度任用職員は、正職員が病休や産休などを取得する際の欠員補充や専門性の高い業務に従事していただいている。現在の雇用人数は433人。正職員は415人。433人のうち女性は329人。

**問** 正職より多いのは良くない。給料が低い。上限を無くし、5年間だけという制限を無くすべき。国家公務員と比較しても給与が低過ぎ、女性差別にもつながるがいかがか。

**答** 実態もふまえて検討してみたい。

## 【特別委員会】

### 【特別委員会とは？】

臨時的に特別な問題について審査または調査を必要とする場合に設置されます。

### 地域の賑わい創出対策特別委員会

委員 丸田 克孝 委員長、田村 閑美 副委員長、伊藤 正三 委員、福谷 直美 委員、米田 勝彦 委員、福井 典子 委員

「第8回地域の賑わい創出対策特別委員会」を令和5年9月19日(火)に開催し、今後の委員会の方向性について協議しました。

委員から県立美術館開館後の活性化を図る大事な時期であり、地域のにぎわい創出につながる取り組みを具体的にしっかり執行部とも協議し、共有して提言したいとの声があり、委員全員一致で今後も引き続き「地域の賑わい創出対策特別委員会」を存続することが決定されました。

その後、「第1回地域の賑わい創出対策特別委員会協議会」を開催し、関係執行部も参加する中、鳥取県立美術館開館を踏まえた倉吉パークスクエアのゾーニング勉強会を行いました。説明紹介者に鳥取県教育委員会美術館整備局長の梅田雅彦氏、株式会社榎総合計画事務所主任所員の松田浩幸氏をお招きし、「新たな拠点となる鳥取県立美術館と倉吉のまちへの愛着と共感の醸成」と題し、榎総合計画事務所が考える6つの視点で説明を聞きました。委員からさまざまな質問が出ていたことから、もっと協議する時間が必要だと感じています。今回のような協議会を今後も続ける意義を感じました。



地域の賑わい創出対策特別委員会協議会





# 【議案に対する質疑】

執行部から提出された議案に対し、各議員が質疑を行いました。  
※自らが所属する常任委員会の所管事項については、本会議での質疑は原則控えることと  
なっています。



市議会提出議案

| 議員名  | 通告                                     | 担当部局  |
|------|--|-------|
| 米田勝彦 | R05 補正予算 企業誘致                          | 経済観光部 |
|      | R05 補正予算 地域資源観光活用事業（関金地区）              | 経済観光部 |
| 鳥飼幹男 | R04 一般決算 地元大学等関連                       | 総務部   |
| 大津昌克 | 無償貸付 財産の無償貸付けについての議決の一部変更について          | 総務部   |
| 福井康夫 | R04 一般決算 関金地区光ファイバ整備事業                 | 総務部   |
|      | R04 一般決算 倉吉西エリア光ファイバ整備事業               | 総務部   |
|      | 温泉決算 令和4年度倉吉市温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について   | 総務部   |
| 藤井隆弘 | R05 補正予算 市場開拓支援事業                      | 経済観光部 |
|      | R05 補正予算 小学校運営（総務）                     | 教育委員会 |
| 大月悦子 | R04 一般決算 【交付金事業】訪問介護サービス事業所等燃油高騰緊急対策事業 | 健康福祉部 |
|      | R04 一般決算 在宅福祉（単県補助）                    | 健康福祉部 |
|      | R05 補正予算 周遊滞在型観光地創造事業                  | 経済観光部 |
| 竺原晶子 | R04 一般決算 協働のまちづくり                      | 市民生活部 |
| 鳥羽昌明 | R04 一般決算 企画政策推進                        | 総務部   |
|      | R04 一般決算 関金地区光ファイバ整備事業                 | 総務部   |
|      | R05 補正予算 災害対策                          | 総務部   |
| 田村閑美 | R05 補正予算 災害対策                          | 総務部   |
|      | R05 補正予算 適正配置準備                        | 教育委員会 |
|      | R04 一般決算 総合交通対策（定住自立圏）                 | 総務部   |
|      | R04 一般決算 婦人保護                          | 健康福祉部 |
|      | R04 一般決算 保育所運営                         | 健康福祉部 |

| 議員名  | 通告                               | 担当部局  |
|------|----------------------------------|-------|
| 伊藤正三 | R04 一般決算 防災行政無線更新事業              | 総務部   |
|      | R04 一般決算 造林                      | 経済観光部 |
|      | R04 一般決算 倉吉市くらしよし産業元気条例推進事業      | 経済観光部 |
| 丸田克孝 | R04 一般決算 非課税世帯等臨時特別給付金給付事業（繰越明許） | 健康福祉部 |
|      | R04 一般決算 支所管理                    | 総務部   |
|      | R04 一般決算 生活困窮者自立支援               | 健康福祉部 |
|      | R04 一般決算 自立支援給付事業                | 健康福祉部 |
|      | R04 一般決算 コーディネート機能強化事業           | 健康福祉部 |
| 福井典子 | R04 一般決算 観光誘客促進支援事業              | 経済観光部 |
|      | R04 一般決算 観光関連団体助成事業              | 経済観光部 |
| 山根健資 | R05 補正予算 周遊滞在型観光地創造事業            | 経済観光部 |
| 佐藤博英 | R05 補正予算 マンホールトイレ整備事業            | 総務部   |
|      | R05 補正予算 観光施設維持管理事業（関金地区）湯命館     | 経済観光部 |

R04 一般決算 …認定第1号 令和4年度倉吉市一般会計歳入  
温泉決算 …認定第5号 温泉配湯事業会計決算  
R05 補正予算 …議案第82号 令和5年度倉吉市一般会計補正予算(第4号)  
無償貸付 …議案第85号 財産の無償貸付けについての議決の一部変更について

## 主な質疑・答弁

### 災害対策

|     |          |
|-----|----------|
| 補正前 | 10,843千円 |
| 補正額 | 4,000千円  |

Q 危険木の伐採は、地権者や所有者の負担はないか。

A 県が4分の1、市が4分の1、電力事業者が2分の1の事業費を負担し、災害時の市民生活を守るため実施するもの。森林所有者等の自己負担は求めない考え。

Q 伐採はどこが行うのか。

A 本市が実施主体。

Q 発災後の復旧作業については対象外なのか。

A この事業はあくまで予防的な危険木の事前伐採を行う事業で、特別に事業創生をしたもの。従来からの災害等により倒木が発生した際の除去については、従来どおり施設管理者等が実施する。

Q 市民の方からの危険木の伐採要望があった場合の対応は。

A 電力事業者或いは県と現場を確認し、その木が倒木した場合に、集落が孤立する可能性、う回路の必要性、停電の起こる可

能性等、詳細に調査して、電力事業者が2分の1を負担してでもこの木は伐採した方がいいということが確認できれば予算措置し、対応していきたい。

### マンホールトイレ整備事業

|     |          |
|-----|----------|
| 補正前 | 0円       |
| 補正額 | 16,531千円 |

Q この事業の進め方と将来的な展望は。

A 震災時、避難所となる市内13（旧灘手小含む）小学校にマンホールトイレを整備する。このたびの予算は、令和6年度に整備する5校分（河北・西郷・上灘・社・小鴨）の測量設計委託料になる。他小学校も3年かけて整備し、総額3億円を予定している。また、マンホールトイレを開設できるよう、地域の皆さんと避難訓練もしていく。

Q 中学校も避難所になるが、設置すべきでは。

A 小学校に設置後、市の手出しを見ながら次の段階で検討していく。



# 【常任委員会】

## 【常任委員会とは?】

所管する部門の事務に関する調査を行ったり、付託を受けた議案や請願などを審査します。行政の事務は多岐にわたり、かつ専門的であるため、合理的・能率的に調査・審査するよう部門別の委員会を設け、分科的に調査・審査します。

## 教育福祉常任委員会

|    |             |
|----|-------------|
| 委員 | 鳥羽 昌明 委員長   |
|    | 山根 健資 副委員長  |
|    | 伊藤 正三 委員    |
|    | 大津 昌克 委員    |
|    | 佐藤 博英 委員    |
|    | 福井 典子 委員    |
| 所管 | 健康福祉部、教育委員会 |

教育福祉常任委員会には認定4件、議案2件が付託され、委員会審査が行われました。

付託案件以外では、懸案となっている倉吉西エリアの保育所再編に関して、保護者や地域住民への説明会の進捗状況等について執行部に説明を求めました。執行部からは、各地区への説明会は8月末までに一通り終え、今後は、4地区の保護者代表および地区代表を一堂に会しての説明と意見

交換会の場を10月中旬までに行う予定であることや、新たな保育機能についてより具体的な説明が行えるよう、今年度中には基本設計を行いたい旨の考えが示されました。

その他、成徳小学校の校名変更に関するの質疑も行われ、改めて、今回は児童と保護者の意見を中心に進めていく方針であるとの説明がありました。

また、昨年7月から行ってきた所管事務調査の、最終となる委員長報告の内容について協議を行いました。

### 審査の結果

付託された議案は全て可決・認定されました。

## 総務建設常任委員会

|    |  |
|----|--|
| 委員 | 米田 彦子 委員長                                  |
|    | 笠原 晶子 副委員長                                 |
|    | 朝日 等治 委員                                   |
|    | 大月 悦子 委員                                   |
|    | 福谷 直美 委員                                   |
|    | 藤井 隆弘 委員                                   |
| 所管 | 総務部、建設部、会計課、上下水道局、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会 |

総務建設常任委員会には、決算認定8件、議案10件、陳情1件、継続審査1件が付託され、委員会審査が行われました。

決算認定では上井駅北々鳥取短大の県の道路工事に対する地元負担金についても審査し、執行部の説明で、県は令和6年度内に完成予定とのことでした。

その他、関金エリアの施設維持管理費、関金の温泉配当事業、新町の駐車場事業、上下水道事業等を審査

しました。

8月の台風7号では、議案第79号専決処分分の農林業単独災害復旧費、議案第89号補正予算の公共土木単独災害復旧費等について審査し、委員から早急な復旧を求める意見が出ました。

### 審査の結果

付託された決算認定及び議案は全て可決・承認・認定されました。陳情第14号のガソリン価格高騰に係る支援措置の継続については、国が既に支援を決めており趣旨採択。6月定例会で継続審査となっている陳情第10号入管法改正案の撤回を求める意見書提出等については国が既に法改正しており、送還の例外規定もあることから不採択となりました。



## 市民経済常任委員会

|    |                      |
|----|----------------------|
| 委員 | 福井 康夫 委員長            |
|    | 鳥飼 幹男 副委員長           |
|    | 田村 閑美 委員             |
|    | 丸田 克孝 委員             |
| 所管 | 市民生活部、経済観光部<br>農業委員会 |

市民経済常任委員会には、1件の令和4年度倉吉市一般会計の決算認定、1件の専決処分、2件の議案が付託され、9月14日、15日に委員会審査が行われました。認定第1号令和4年度一般会計決算では、旧グリーンスコレセきがね再生事業設計業務委託料、関金地区光ファイバ整備事業、ふるさと納税5億1,100万円の収入実績等の報告がなされました。議案第82号9月補正予算として、巖城工業団地整

備工事など5億4,700万円、周遊滞在型観光地創造事業としてインバウンド向け観光コンテンツ旅行商品の企画開発事業費660万円、せきがね湯命館の在り方に関する調査・検討業務など、2,200万円余の補正予算について審査。追加議案として議案第90号工事請負契約の締結は、せきがね温泉宿泊施設整備工事として契約金額11億4,290万円を審査。

### 審査の結果

付託された諸議案は、いずれも全員の賛成により可決・承認・認定されました。

## 正副議長が決まりました

令和5年9月第5回倉吉市議会定例会において、投票により正副議長の選挙を行い、議長に福谷直美議員、副議長に朝日等治議員が当選しました。

### 福谷直美 議長

このたびの倉吉市議会9月定例会最終日の議長選挙において議長職を拝命いたしました福谷でございます。次の2年間もしっかりと市民の皆様のために働いてまいります。



議会、議員の役割を認識しながら、市政発展のために何ができるのか考え、倉吉市がもっともと元気になるため、議員の皆様とともに活動してまいりたいと思います。

市民の皆様におかれましては、倉吉市議会に関心をお寄せいただき、今後とも一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 朝日等治 副議長

第37代の副議長に就かせていただき、責任の重さを痛感すると同時に、その使命感に駆られております。

市民の皆様が描かれる倉吉市議会の理想の姿は様々にあると思いますが、最も望まれる議員集団になるよう、私の持てる力を発揮する所存です。人口減少を始め、少子高齢化、子育て支援、若者の定住、女性活躍の推進、温暖化による治水対策、コロナ禍で疲弊した中小零細企業への支援、市民サービスの向上に向けたDX推進、一方では市民の政治離れなどの様々な課題に対し、各議員の有能分野を導き、活かし、市民のためにより高みを目指した議会として進んで行くその先導役を務めていきます。



市民の皆様には、どうか遠慮、敬遠なさらず倉吉市議会を訪れてくださいますようお願いいたします。



# 【議案等の議決結果】

9月定例会に提出された議案等のうち、賛否が分かれた案件は、1件でした。議員個人の表決は以下のとおりです。なお、表に掲載していない議案等は、「起立全員」、「異議なし」で可決しました。



議決結果

〔会派名〕  
 ◀ くらよし 公・新  
 △ 公明党 改革新政会市議団  
 ☆ さきがけ 共  
 ● 日本共産党  
 ○ 自由

## 賛否の内訳

| 議案番号 | 件名                | 議案に対する賛否 |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 賛成 | 反対 | 議決結果 |      |      |      |
|------|-------------------|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|----|------|------|------|------|
|      |                   | 藤井隆弘     | 丸田克孝 | 大津昌克 | 大月悦子 | 福谷直美 | 鳥飼幹男 | 福井康夫 | 鳥羽昌明 | 笹原晶子 | 伊藤正三 | 朝日等治 | 米田勝彦 | 山根健資 | 福井典子 |    |    |      | 佐藤博英 | 田村閑美 |      |
|      | 福谷直美議長不信任決議について   | /        | /    | /    | /    | /    | /    | /    | /    | /    | /    | /    | /    | /    | /    | /  | /  | /    | 議決不要 |      |      |
|      | 倉吉市議会議長福谷直美君信任の決議 | -        | ○    | ○    | ○    | *    | *    | *    | *    | *    | ×    | *    | ○    | *    | ○    | ○  | ×  | ○    | 7    | 2    | 原案可決 |

〔凡例〕 ○賛成、×反対、\*退席・除斥・欠席、-議長のため表決に加わらず

### 動議

令和5年9月21日(木)

① 「福谷直美議長不信任決議」を福井康夫議員、伊藤正三議員が提出

② 「倉吉市議会議長福谷直美君信任の決議」を朝日等治議員が提出

\* 競合する場合、現状を肯定する信任を先議することとする。

- ・ 朝日議員が提案理由の説明
- ・ 質疑 笹原議員
- ・ 討論 信任動議に反対討論 鳥羽議員、福井康夫議員

採決 信任動議は、賛成多数で可決

賛成 7人

反対 2人

※ 「福谷直美議長不信任決議」は議決不要

※ 賛否の内訳は上記のとおり

## 請願・陳情の結果

| 番号       | 件名                               | 委員長報告(付託委員会) | 委員長報告に対する賛否 |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 賛成 | 反対 | 議決結果 |      |      |
|----------|----------------------------------|--------------|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|----|------|------|------|
|          |                                  |              | 藤井隆弘        | 丸田克孝 | 大津昌克 | 大月悦子 | 福谷直美 | 鳥飼幹男 | 福井康夫 | 鳥羽昌明 | 笹原晶子 | 伊藤正三 | 朝日等治 | 米田勝彦 | 山根健資 | 福井典子 |    |    |      | 佐藤博英 | 田村閑美 |
| 陳情 第 14号 | ガソリン価格の高騰に係る支援措置の継続を求める意見書提出について | 趣旨採択         | ○           | ○    | ○    | ○    | -    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×    | ○    | ×  | ×  | 12   | 3    | 趣旨採択 |
| 陳情 第 10号 | 入管法改正案の撤回を求める意見書提出等について(継続審査分)   | 不採択          | ○           | ○    | ○    | ○    | -    | ○    | ×    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×    | ○  | ○  | 13   | 2    | 不採択  |

〔凡例〕 ○賛成、×反対、\*退席・除斥・欠席、-議長のため表決に加わらず  
 ※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成は「○」、反対は「×」と記載しています。





## 倉吉市社会福祉協議会と 教育福祉常任委員会の 福祉懇談会が行われました。



鳥羽委員長 あいさつ

### この会の目的

3年にわたるコロナ禍では、減収や失業によって困窮する世帯が増えたり、外出の機会が制限され、交流の機会が減少しましたが、改めて人と人とのつながりの大切さについて考えながら、今後の地域福祉の推進に向けた意見交換を行うもの。



坂本会長 あいさつ

## 倉吉市社会福祉協議会の事業説明

地域福祉及び相談支援を中心とした社協活動を紹介しながら、地域福祉を進めるに当たって大切な視点を説明していただきました。



- 孤独・孤立しがちな世帯へのつながり続ける支援（伴走型支援）
- 支援を拒む利用者へのアプローチ
- 日常生活の維持や社会参加の機会を得るための移動手手段の確保
- 人と人とのつながりを創出するための地域での交流や社会参加の方法 等

### このような意見が交わされました

- どのようにしたら若者に参加してもらえるか、地域の大きな課題と認識している。
- コロナの貸付金はどうなっているか。
- 福祉のニーズも多様化、複雑化していくなか、財源の問題もあろうかと思う。サロンの説明があったが世話をする人が不足していると感じている。
- フレイルドミノの説明があったが、まさにそのとおりだと思う。

### 会の感想

- 改めて社協の取り組みに感謝したい。
- 知らないこともたくさんあって勉強になった。がん検診の受診率の向上に通じるところがあると感じた。
- もう少し具体的な問題についてお話を聞く機会があってもよい。行政は市民の福祉向上が大きな目的。市社協は、中でも特化した福祉事業を行われている。現在の大きな課題は地域コミュニティの再構築にあると考えている。またの機会に勉強させていただきたい。

# 市民の こえ 声



(株)西河商店

にしかわようこ  
西河葉子さん

## 令和5年 12月 倉吉市議会定例会

【会 期】12月4日(月)～12月20日(水)

【会議日程】

| 月日    | 曜日 | 会議区分 | 時間    | 内容               |  |
|-------|----|------|-------|------------------|--|
| 12月4日 | 月  | 本会議  | 午前10時 | 議案の上程、提案理由の説明    |  |
| 5日    | 火  | 本会議  | 午前10時 | 市政に対する一般質問       |  |
| 6日    | 水  | 本会議  | 午前10時 | 市政に対する一般質問       |  |
| 7日    | 木  | 本会議  | 午前10時 | 市政に対する一般質問       |  |
| 8日    | 金  |      |       | 予備日              |  |
| 9日    | 土  |      |       | 休会               |  |
| 10日   | 日  |      |       | 休会               |  |
| 11日   | 月  | 本会議  | 午前10時 | 付議議案に対する質疑～委員会付託 |  |
| 12日   | 火  |      |       | 予備日              |  |
| 13日   | 水  | 委員会  | 午前10時 | 予算決算常任委員会(予定)    |  |
| 14日   | 木  |      |       | 予備日              |  |
| 15日   | 金  | 委員会  | 午前10時 | 常任委員会(予定)        |  |
| 16日   | 土  |      |       | 休会               |  |
| 17日   | 日  |      |       | 休会               |  |
| 18日   | 月  |      |       | 予備日              |  |
| 19日   | 火  |      |       | 議事整理日            |  |
| 20日   | 水  | 本会議  | 午前10時 | 委員長報告～付議議案の討論・採決 |  |



…ケーブルテレビ放送あり

※録画放送は開催日の午後7時から。



…手話通訳あり

倉吉市議会の情報は、ホームページでもご覧いただけます。

会議予定、議長日程、議員名簿、市議会だより、会議録などを掲載しています。

倉吉市議会

検索



### 編 後 記

金木犀の香りが「秋だよ」と季節を教えてくれる。今年の夏の酷暑を癒してくれているのか例年より香りを高く感じる。日本の四季は神様からの優れた贈り物だと歳を重ねるごとに感謝してるが近年、四季の中でも心地よいとされてる春と秋が短くなってると感じる。これも地球温暖化の影響か。

国連で採択された2030年までに達成するべき「17」の目標は今年も終盤に近づき、あと6年くらいでどこまで達成に近づけるだろう。2023年の今年、日本の達成度は166カ国中21位で気候変動対策など「最低評価」だった(朝日新聞)とのこと。小学校での取り組みのおかげか子ども達は会話の中で違和感なくSDGsを口にするも、大人がそれに向けて実践してるだろうか。倉吉で私達はどのように目標に向けて努力している!と、子ども達に持続可能な取り組みのバトンを繋ぎたい。

(編集委員: 田村閑美)

議会だより「白壁」のご意見・ご感想はこちら ▶



## 一倉吉に移住して感じること

私の場合、10年前に地域おこし協力隊の制度を利用して、移住するきっかけをいただきました。実は、地域おこし協力隊に就任する前から「会社勤めを頑張ったご褒美」に、月に一度は関西から遊びに来ており、都市部とは異なる豊かさに、たいへん魅了されていました。今も、その和気藹々とした中で暮らすことができるとても嬉しく、年を重ねていくことも楽しみになっています。このような環境に身を置きたい同世代は、まだまだ多くいるように感じます。

## 一倉吉の魅力は何ですか

「日本の地方の魅力」をそこに暮らす人たちが自主的に守り、それを行政とともに先に繋げようとしている「ひと」たちがいることです。生産地としても日本の誇れる環境のもとで、守り育てる生産者さんの存在や、できあがったモノを県外や海外に展開する際に、市や県が身近な存在として支援してくれる体制があることは、『ひとが織りなす魅力』だと感じています。私自身、この体制が整っていなければ、この土地で特産物のわさびで起業し、定住することは難しかったかもしれません。

## 一市や議会に望むこと

私は、このまちや環境は「未来の子どもたちから託された財産」だと思っています。議論いただく際に、考えていらっしゃる『将来像』を提示していただきながら、「今どうすべきか」をお話ししていただけますと、とても理解しやすく嬉しいです。